

# 第5回懇話会意見交換振り返り資料

## 公共施設の複合化に期待すること

### 子どもの公民館利用

公民館はいろいろできるとよい。小中学生がなじみのある公民館でお世話になる。子育て世代も公民館を使う。高齢者のデイケアも公民館で行う。

公民館を使って交流を楽しんだり、友だちと遊べたりするといいい。

大根小学校で寺子屋活動を行っているが、公民館と複合した際には寺子屋機能を設けられるといい。

社会教育として参加する形式は増えている。学童ではない時間帯に、子ども達が好きな講座の実施や、体験ができるスペースを公民館に機能として確保してほしい。

今でも地域の人から学ぶ機会がある。学校であれば、子どもたちのいるところに地域の人が行けばよくなる。

金融機関があってもよい。利便性だけでなく、金融教育のようなこともできるのではないかな。

### 子どもの学び

児童ホールやこども園があるとワンストップで福祉サービスを受けることができる。

### 他施設との複合化のイメージ

### 子どもの遊び場

公民館と複合化されることで大人の目が多くなるならグラウンド開放も可能なのではないか。大根中学校区には公園が少ないので、子どもが伸び伸びと遊べる場所があるとよい。

人工芝中心のグラウンドをつくってほしい。子どもも大人も喜ぶ。

### 高齢者の生きがい

高齢者が活躍できるような、生きがいをもってもらえる場づくりができると良い。

### 高齢者の居場所

高齢者が家に閉じ込められないような施設が必要であり、目的がなくても訪れやすい施設にすべきと思う。

お年寄りのためには、涼しい場所が必要である。

### 高齢者の子どもの交流

高齢者同士や子どもとの関わりがつけられる仕組みづくりがあると、色々交流が生まれて良いと思う。

高齢者は子どもの声を聞くと元気になると思うが、元気なお年寄りが増えることで経済効果もあるのではないかな。

### 地域コミュニティの活性化

地域が元気であり続けるためにも施設を共有し、文化を共有することで、コミュニティが増えていくことを、複合化には期待する。

学び続ける人が少なくなっているから地域のつながりが弱くなっている。地域だけで解決することは難しいので、教育の側からアプローチできるとよい。

何が困っているのか分からなくなってきて、必要な機能・サービスが打ち出せないように思う。困り事を地域から吸い上げることができるようになるとよい。

### 公民館との複合化のイメージ

公民館が主になってもいいのではないかな。公民館のなかに小学校・中学校が入るイメージがあってもいい。

一体化して極力交流のスペースを取ってほしい。

### 未就学児との交流

子どもへの愛情・愛着形成のため、こども園でのボランティアがあってもよいかもしれない。

## 公共施設の複合化に関して気になること

### セキュリティの確保

セキュリティが大事である。

校門を閉じていれば安全安心というわけではない。逆に人がいる方が大人の目があっていいのではないかな。究極、交番があるとよい。

学校施設とそれ以外はセキュリティのために分けた方がよい。共有できるとしたら給食スペースか。

子どものエリアと公共エリアはある程度線引きが必要だと思うが、多目的スペースや図書室・調理室などの共用も考えたい。

調理室や図書館は学校と公民館で共用できるのではないかな。大人も子供も一緒に使うことでよいことが生まれると期待できる。

調理室を使って、地域の子育て世代が交流できるようなカフェができるとよい。教員の休憩にもよいかもしれない。有料にして、そこで得た資金で子ども食堂をすることも考えられる。

### 学校施設の共用化

### 広畑ふれあいプラザ等地域施設の今後

広畑小学校の避難所機能が残るのが気になっている。大根小・中学校までは、広畑小学校周辺の人にとっては非常に遠い。

ふれあいプラザがどうなるのか。団地の人たちがどのような生活ができるのか、拠り所にできる場所を残せるのかを心配している。

### その他意見

中学校で私学に進学する子どもにとって義務教育学校になると支障が出ないか気になっている。

大根小中周辺の道路が問題だと思う。現在も歩道が狭いことから、時間帯によっては危険な状態であると思っている。